

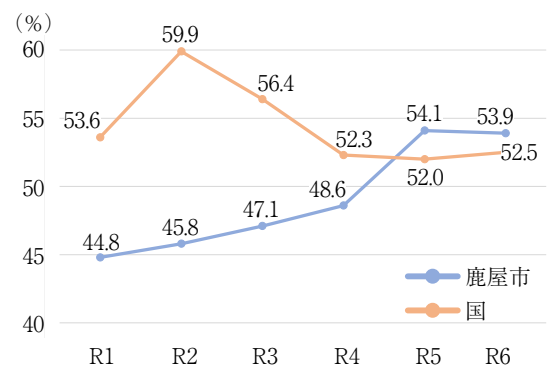
「スポーツ」と聞いて皆さんは
何が頭に思い浮かぶでしょうか。
サッカーや野球、陸上など、ルー
ルや勝ち負けがある「競技」とし
てのスポーツをイメージする人が
多いのではないのでしょうか。
しかし、スポーツ庁が定める「第
三期スポーツ基本計画」では、ス
ポーツとは「身体を動かすという
人間の本源的な欲求に応え、精神
的充足をもたらすもの」と定義さ
れています。これは、例えば朝の
体操やペットの散歩、家族や友達
と行くハイキングや海水浴など、

スポーツって 本当はもっと広い

自分に合った内容で身体を動か
し、楽しめるのであれば何でもス
ポーツであるということになりま
す。自分の適性や志向に応じて、
自由に楽しむことができる身体活
動があなたにとってのスポーツな
のです。

本市のスポーツ実施率は、令和
6年度で約54%となっており、市
民の約半数が週1回以上スポーツ
を実施しているという結果になっ
ています。令和4年度までは国の
実施率よりも低い結果が続いてい

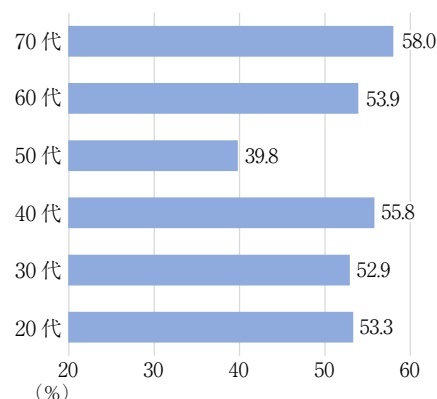
鹿屋市の スポーツ実施率



スポーツ実施率の推移

ましたが、令和5年度からは国を
上回っており、日常的に何らかの
身体活動を行っている人が増加し
ています。

年代別で見ると、50代を除く20
〜70代までの全ての世代は、実施
率50%を超えているのに対し、50
代は約40%に留まっており、時間
的な拘束が大きいと予想される
「働き世代」や「子育て世代」で
低い傾向が見られます。



令和6年度鹿屋市 年代別スポーツ実施率



▲1月13日、鹿屋体育大学で行われた「鹿屋
スポーツ実施率日本一共同宣言」の様子。

スポーツ実施率日本一共同宣言

- ① スポーツ習慣化の確立
- ② スポーツ観戦機会の提供
- ③ スポーツ環境づくりの強化
- ④ スポーツによる交流の推進
- ⑤ スポーツに対する意識の向上

今年の1月に、本市と鹿屋体育
大学は「鹿屋スポーツ実施率日本
一共同宣言」を行いました。本市
と同大学が連携して事業を推進
し、スポーツの輪を市民へと広げ
ることを目的としており、成人が
週1回以上スポーツを実施する割
合で日本一を目指します。

また、「する」、「みる」、「ささ
える」、「つながる」スポーツの推
進を通して、スポーツを行うだけ
でなく、スポーツに関わる人口を
増やし、健康で活力ある社会の実
現に向けた取り組みを推進してい
きます。

鹿屋スポーツ実施率 日本一共同宣言

日常に、スポーツを。

誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるものである
スポーツ。市では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むこと
ができる社会の実現を目指しています。

今回は、市と鹿屋体育大学が共同で行っているスポーツに関する
取り組みを紹介します。

☎市民スポーツ課 TEL 0994-31-1139

Sport in Life

